



(独) 国立高等学校専門学校機構 福井工業高等専門学校

学校賞・個人賞 受賞

JICA国際協力エッセイコンテスト2021にご応募頂き、団体賞を受賞された学校のご担当者様にアンケートを実施しました。エッセイコンテストを学習活動に利用したいけれど、どうしたらいいかわからない、そんな先生方のご参考になりましたら幸いです。

Q ご応募のきっかけを教えてください。

- ・JICA北陸主催の教師海外研修技術系グローバル人材育成コースの参加経験に基づいている。
- ・毎年継続しての取り組みが、担当講義の一環（教育プログラム）として、設定可能なため。
- ・学校全体の組織的取り組みでなくとも、一教員単独での取り組み（応募等）が可能のため

Q どの様に実施されましたか？

- ・英語Ⅲ（一部のクラス）の講義内容の一環として実施。講義の教育内容（シラバス）の位置付けで提供しているため講義の一部をエッセイコンテストの教育指導（個人やグループでのタスク）に割いている。エッセイコンテスト提出は成績評価の一部（課題点）と設定している

Q 国際理解教育を題材とした授業や取り組みはありますか。

- SDGsのテーマに基づいた英語グループプレゼンテーションを英語Ⅲ（3年生一部のクラス）と英語特別講義（5年生選択受講）の講義シラバスの一環として実施している。なお、英語特別講義については、長岡技術科学大学との連携事業（協働科目）ともなっている。

Q JICAエッセイコンテストを含めた国際理解教育の取り組みの中で、生徒さんの学びや気づきの変化などはありましたか。

確かにありました。

Q その他、質問や感想がありましたらご記入頂けると幸いです。（自由記述）

本年度新設の「エッセイコンテスト書き方ワークシート」は講義でのエッセイコンテストの教育的指導の位置づけ強化の観点から非常に有益であった。早速、講義内で実践したが、学生は個人、グループで設定したタスクに積極的に取り組んでいた。講義での定着が肝要である。

ご回答ありがとうございました。